

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |     |
|-----|------|-----|-----|
| 科目名 | 論理国語 | 単位数 | 2単位 |
|     |      | 学年等 | 2年生 |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | 実社会において必要となる、論理的に書いたり批判的に読んだりする資質・能力を育成する。  |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 精選 論理国語(明治書院)<br>副教材 グランステップ現代文 2.5(尚文出版)<br>進研 WINSTEP 現代文2(ラーズ)<br>評論・小説を読むための新現代文単語改訂版(いっずな書店)<br>文学国語セレクション(東京書籍)<br>意味から学ぶ頻出漢字 3000(第一学習社)*継続使用<br>プレミアムカラー国語便覧(数研出版)*継続使用 |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能                       | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|-----------------------------|---|---|
| 趣旨  | 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 | 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、達者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化としての担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |
| 評価点 | 200点                        | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考查 | 単元   | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|--|--------|----------|---------------|
| 1回 | 『『間』の感覚』(高階秀爾)<br>「猫は後悔するか」(野矢茂樹)          | 定期考査など | 定期考査など   | 課題の提出<br>授業態度 |
|    | 評価点  |        |          |               |
| 2回 | 「イメージの時代と文化産業」(石田英敬)<br>「近代都市のレトリック」(陣内秀信) | 定期考査など | 定期考査など   | 課題の提出<br>授業態度 |
|    | 評価点  |        |          |               |
| 3回 | 「記号論への招待」(池上嘉彦)<br>「語りと実在のつながり」(岸政彦)       | 定期考査など | 定期考査など   | 課題の提出<br>授業態度 |
|    | 評価点  |        |          |               |
| 4回 | 「いのちのかたち」(西谷修)<br>「私の個人主義」(森鷗外)            | 定期考査など | 定期考査など   | 課題の提出<br>授業態度 |
|    | 評価点  |        |          |               |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容  | 時数 |
|----|----|---|----|
| 前期 | 4  | 『『間』の感覚』(高階秀爾)<br>◆日本を知り、世界を知る<br>◆文章の構造や展開のしかたを理解する<br>◆構成を検討する                            | 20 |
|    | 5  | 「猫は後悔するか」(野矢茂樹)<br>◆どのように見て、考えているかを知る<br>◆論理の展開を意識する  |    |
|    | 6  | ◆批判的に検討する<br><br>第1回考査  |    |
|    | 7  | 「イメージの時代と文化産業」(石田英敬)<br>◆メディアがもたらす影響について考える<br>◆仮説を立てる<br>◆情報を収集し内容を検討する                    | 16 |
|    | 9  | 「近代都市のレトリック」(陣内秀信)<br>◆都市・建築について文化を比較して考える<br>◆文章の効果的な展開のしかたを学ぶ<br>◆文章の要点を把握する<br><br>第2回考査 |    |
|    |    |   |    |
| 後期 | 10 | 「記号論への招待」(池上嘉彦)<br>◆言語とは何かについて考える<br>◆文章の構造や展開のしかたを工夫する<br>◆論理の明晰さを確認する                     | 14 |
|    | 11 | 「語りと実在のつながり」(岸政彦)<br>◆現代社会の現実と「物語」について知る<br>◆仮説を検証する<br>◆関連する資料で裏付けを取る<br><br>第3回考査         |    |
|    | 12 | 「いのちのかたち」(西谷修)<br>◆技術の発展によって何が起こるのか考える<br>◆論理の展開を工夫する<br>◆考えを形成し記述する                        | 20 |
|    | 1  |   |    |
|    | 2  | 「私の個人主義」(森鷗外)<br>◆近代から現代へ、どのように変化してきたかを考える<br>◆言葉の働きを理解し、効果的に使う<br>◆推敲し共有する<br><br>第4回考査    |    |

5 その他

- 漢字テスト(「意味から学ぶ頻出漢字 3000」)を毎週おこないます。
- 自学自習教材が週課題として位置づけられ、毎週はじめに提出があります。



年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |     |
|-----|------|-----|-----|
| 科目名 | 古典探究 | 単位数 | 2単位 |
|     |      | 学年等 | 2年生 |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | 古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解し、自分と自分を取りまく社会にとっての古典の意義や価値について探求する資質・能力を育成する。   |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 古典探究 古文編 漢文編(大修館書店)<br>副教材 進研 WINSTEP 古典2(ラーズ)<br>2+ 錬成古文大学入試共通テスト対策新装版(尚文出版)<br>2+ 錬成漢文大学入試共通テスト対策新装版(尚文出版)<br>古典文法習得のためのまじらわしい語の識別マスターノート(数研出版)<br>古典文法習得のための敬語マスターノート(数研出版)<br>短期集中シリーズ和歌(桐原書店)<br>わかる・読める・解ける key & point 古文単語 330(いっぴな書店)*継続使用<br>古典文法習得のための助動詞マスターノート(数研出版)*継続使用<br>基礎から解釈へ漢文必携 (桐原書店)*継続使用<br>読解を大切に作る体型古典文法*継続使用<br>プレミアムカラー国語便覧(数研出版)*継続使用 |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化としての担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考査 | 単元  | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|---|--------|----------|---------------|
| 1回 | 十訓抄「大江山いくのの道」<br>枕草子「宮に初めて参りたるころ」<br>「中納言参りたまひて」<br>「すさまじきもの」<br>故事・逸話「画竜点睛」「漱石枕流」<br>論語「賢哉回也」「聞斬行諸」「行不由経」<br>徒然草「花は盛りに」「家居のつきづきしく」 | 定期考査など | 定期考査など   | 課題の提出<br>授業態度 |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点           |
| 2回 | 故事・逸話「水魚の交はり」「死せる諸葛生ける仲達を走らす」<br>更級日記「門出」「源氏の五十余巻」<br>李白「春夜宴桃李園序」<br>源氏物語「桐壺」(前半)   | 定期考査など | 定期考査など   | 課題の提出<br>授業態度 |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点           |

|    |  |        |        |               |
|----|--|--------|--------|---------------|
| 3回 | 源氏物語「桐壺」(後半)「若紫」<br>史記「鴻門の会」「項王の最期」  | 定期考査など | 定期考査など | 課題の提出<br>授業態度 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点    | 50点           |
| 4回 | 大鏡「競べ弓」「花山天皇の出家」<br>孟子「人忍不人之心」<br>老子「大道廃、有仁義」<br>莊子「曳尾於塗中」<br>新古今和歌集<br>無名抄「おもて歌」<br>正徹物語「沓冠の折句」<br>史記「廉頗・藺相如」 | 定期考査など | 定期考査など | 課題の提出<br>授業態度 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点    | 50点           |

#### 4 指導の計画

| 学期 | 月     | 単元及び学習内容                                | 時数     |
|----|-------|---|--------|
| 前期 | 4     | 説話 十訓抄「大江山いくのの道」                        | 5      |
|    |       | 随筆 枕草子「宮に初めて参りたるころ」「中納言参りたまひて」「すさまじきもの」 | 9      |
|    | 5     | 故事・逸話 「画竜点睛」「漱石枕流」                      | 3      |
|    |       | 思想 論語「賢哉回也」「聞斬行諸」「行不由経」                 | 4      |
|    | 6     | 随筆 徒然草「花は盛りに」「家居のつきづきしく」                | 8      |
|    |       | 第1回考査                                   | 1      |
|    | 7     | 故事・逸話 「水魚の交はり」「死せる諸葛生ける仲達を走らす」          | 5      |
|    | 8     | 日記 更級日記「門出」「源氏の五十余巻」                    | 7      |
|    | 9     | 文章 古文真宝後集「春夜宴桃李園序」<br>物語 源氏物語「桐壺」(前半)   | 3<br>8 |
|    | 第2回考査 | 1                                       |        |
| 後期 | 10    | 物語 源氏物語「桐壺」(後半)「若紫」                     | 10     |
|    | 11    | 史伝 史記「鴻門の会」「項王の最期」                      | 10     |
|    |       | 第3回考査                                   | 1      |
|    |       | 物語 大鏡「競べ弓」「花山院の出家」                      | 6      |
|    | 12    | 思想 孟子「不忍人之心」                            | 2      |
|    | 1     | 老子「大道廃、有仁義」                             | 2      |
|    |       | 莊子「曳尾於塗中」                               | 2      |
|    |       | 和歌 新古今和歌集                               | 3      |
|    |       | 歌論 無名抄「おもて歌」                            | 3      |
|    | 2     | 正徹物語「沓冠の折句」<br>史伝 史記「廉頗・藺相如」            | 3<br>8 |
|    | 第4回考査 | 1                                       |        |

#### 5 その他

○古文単語テスト(「わかる・読める・解ける key & point 古文単語 330」)・漢文基本賞テスト(「基礎から解釈へ 漢文必携」)を毎週おこないます。

○自学自習教材が集課題として位置づけられ、毎週はじめに提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |          |
|-----|------|-----|----------|
| 科目名 | 地理総合 | 単位数 | 2単位      |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科普通 |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 高校生の地理総合(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)</p> <p>副教材 新編地理資料2023(東京法令出版) データブック オブ・ザ・ワールド 2023(二宮書店)</p> <p>問題集 ニューコンパスノート 地理 2023(東京法令出版)</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-----|--|--|--|
| 趣旨  | <p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> | <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。</p> | <p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付け、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めている。</p> |
| 評価点 | 200点   | 200点   | 200点   |

3 評価の計画

| 考查 | 単元   | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度        |
|----|--|-------|----------|----------------------|
| 1回 | <p>第1章 地図とGISの活用</p> <p>①球面上の世界<br/>②世界から見た日本の位置と領域<br/>③国内や国家間の結び付き<br/>④暮らしの中の地図とGIS</p>               | 定期考查等 | 定期考查等    | 授業中の行動観察<br>課題等の記述分析 |
|    | 評価点  | 50点   | 50点      | 50点                  |
| 2回 | <p>第2章 地理的環境の特色</p> <p>①地形と生活文化 ②気候と生活文化</p>   | 定期考查等 | 定期考查等    | 授業中の行動観察<br>課題等の記述分析 |
|    | 評価点  | 50点   | 50点      | 50点                  |
| 3回 | <p>第2章 地理的環境の特色</p> <p>③産業と生活文化<br/>④宗教・言語と生活文化</p>  | 定期考查等 | 定期考查等    | 授業中の行動観察<br>課題等の記述分析 |
|    | 評価点  | 50点   | 50点      | 50点                  |
| 4回 | <p>第3章 世界各地の生活文化</p> <p>①東アジア ②ASEAN諸国 ③南アジア ④イスラム圏<br/>⑤アフリカ ⑥EU ⑦ロシア ⑧アメリカ・カナダ<br/>⑨ラテンアメリカ ⑩オセアニア</p> | 定期考查等 | 定期考查等    | 授業中の行動観察<br>課題等の記述分析 |
|    | 評価点  | 50点   | 50点      | 50点                  |

4 指導の計画

| 学期                   | 月  | 単元及び学習内容            | 時数 |
|----------------------|--|---------------------|----|
| 前期                   | 4  | 1部 地図や地理情報システムと現代世界 | 16 |
|                      | 5  | 1章 地図や地理情報システムと現代世界 |    |
|                      | 6  | 1節 地球儀と地図           |    |
|                      |  | 2節 地図と地理情報システム      |    |
|                      | 6  | 2章 結びつきを深める現代世界     |    |
|                      |  | 1節 現代世界の国家と領域       |    |
|                      | 7  | 2部 国際理解と国際協力        | 20 |
|                      | 8  | 1章 生活文化の多様性と国際理解    |    |
|                      |  | 1節 世界の地形と人々の生活      |    |
| 2節 世界の気候と人々の生活       |  |                     |    |
| 3節 世界の産業と人々の生活       |  |                     |    |
| 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 |  |                     |    |
| 9                    | 5節 多様な生活文化と地理的環境                               |                     |    |
|                      | ①東アジア                      ②東南アジア              |                     |    |
|                      | ③インド                         ④中央アジア・西アジア・北アフリカ |                     |    |
|                      | ⑤サハラ以南アフリカ      ⑥ヨーロッパ                         |                     |    |
|                      | ⑦ロシア                        ⑧アメリカ合衆国           |                     |    |
|                      | ⑨ラテンアメリカ          ⑩オセアニア                       |                     |    |
|                      | 第1回考査  |                     |    |
|                      | 第2回考査  |                     |    |
| 後期                   | 10   | 2部 国際理解と国際協力        | 14 |
|                      | 11   | 2章 地球的課題と国際協力       |    |
|                      |  | 1節 人口問題             |    |
|                      |  | 2節 食料問題             |    |
|                      |  | 3節 都市・居住問題          |    |
|                      |  | 4節 感染症・衛生問題         |    |
|                      |  | 5節 資源・エネルギー問題       |    |
|                      |  | 6節 地球環境問題           |    |
|                      |  | 第3回考査               |    |
|                      |  | 3部 持続可能な地域づくりと私たち   | 18 |
| 12                   | 1章 自然環境と防災                                     |                     |    |
|                      | 1節 日本の自然環境                                     |                     |    |
|                      | 2節 地震・津波や火山活動による災害と防災                          |                     |    |
| 1                    | 3節 気象災害と防災                                     |                     |    |
|                      | 4節 自然災害への備え                                    |                     |    |
| 2                    | 2章 生活圏の調査と地域の展望                                | 2                   |    |
|                      | 第4回考査  |                     |    |

5 その他

- 図表や地図などから様々な情報を読み取る技能、それらの背景を考察する力、考察したことを生活に役立てる力を育成します。
- 授業プリントには、板書事項を書き写すだけでなく、必要な情報を書き込んでください。



様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |       |     |              |
|-----|-------|-----|--------------|
| 科目名 | 日本史探究 | 単位数 | 2単位          |
|     |       | 学年等 | 2年生普通科普通(文型) |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 詳説日本史(山川出版社)<br>副教材 詳説日本史ノート(山川出版社) 新詳日本史(浜島書店)   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-----|---|---|--|
| 趣旨  | 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目しながら、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 | 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点   |

3 評価の計画

| 考査 | 単元  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度     |
|----|---|-------|----------|-------------------|
| 1回 | [第1部 原始・古代]<br>第1章 日本文化のあけぼの<br>第2章 古墳とヤマト政権<br>第3章 律令国家の形成<br>第4章 貴族政治の展開  | ・定期考査 | ・定期考査    | ・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点               |
| 2回 | [第2部 中世]<br>第5章 院政と武士の躍進<br>第6章 武家政権の成立<br>第7章 武家社会の成長<br>[第3部 近世]<br>第8章 近世の幕開け                                  | ・定期考査 | ・定期考査    | ・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点               |
| 3回 | 第9章 幕藩体制の成立と展開<br>第10章 幕藩体制の動揺<br>[第4部 近代・現代]<br>第11章 近世から近代へ   | ・定期考査 | ・定期考査    | ・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点               |
| 4回 | 第12章 近代国家の成立<br>第13章 近代国家の展開<br>第14章 近代の産業と生活<br>第15章 恐慌と第二次世界大戦<br>第16章 占領下の日本<br>第17章 高度成長の時代<br>第18章 激動する世界と日本 | ・定期考査 | ・定期考査    | ・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点               |

4 指導の計画

| 学期                        | 月 | 単元及び学習内容                                  | 時数 |
|---------------------------|---|---|----|
|                           | 4 | [第1部 原始・古代]<br>第1章 日本文化のあけぼの<br>1節 文化の始まり | 3  |
|                           |   | 2節 農耕社会の成立                                | 3  |
|                           | 5 | 第2章 古墳とヤマト政権<br>1節 古墳文化の展開                | 9  |
|                           |   | 2節 飛鳥の朝廷                                  |    |
| 第3章 律令国家の形成<br>1節 律令国家への道 |   |   |    |
| 2節 平城京の時代                 |   |   |    |
|                           |   | 3節 律令国家の文化                                |    |
|                           |   | 4節 律令国家の変容                                |    |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 前期 | 6   | 第4章 貴族政治の展開<br>1節 摂関政治<br>2節 国風文化<br>3節 地方政治の展開と武士<br>第1回考査                   | 4 |
|    |   | [第2部 中世]  |   |
|    | 7   | 第5章 院政と武士の躍進<br>1節 院政の始まり<br>2節 院政と平氏政権                                       | 3 |
|    | 8   | 第6章 武家政権の成立<br>1節 鎌倉幕府の成立<br>2節 武士の社会<br>3節 モンゴルの襲来と幕府の衰退<br>4節 鎌倉文化          | 5 |
|    | 9   | 第7章 武家社会の成長<br>1節 室町幕府の成立<br>2節 幕府の衰退と庶民の台頭<br>3節 室町文化<br>4節 戦国大名の登場<br>第3回考査 | 5 |
|    |   | [第3部 近世]  |   |
|    |   | 第8章 近世の幕開け<br>1節 織豊政権<br>2節 桃山文化<br>第2回考査                                     | 3 |
| 後期 | 10  | 第9章 幕藩体制の成立と展開<br>1節 幕藩体制の成立<br>2節 幕藩社会の構造<br>3節 幕政の安定<br>4節 経済の発展<br>5節 元禄文化 | 7 |
|    | 11  | 第10章 幕藩体制の動揺<br>1節 幕政の改革<br>2節 宝暦・天明期の文化<br>3節 幕府の衰退と近代への道<br>4節 化政文化         | 5 |
|    |   | [第4部 近代・現代]   |   |
|    |   | 第11章 近世から近代へ<br>1節 開国と幕末の動乱<br>2節 幕府の滅亡と新政府の発足<br>第3回考査                       | 3 |
|    | 12  | 第12章 近代国家の成立<br>1節 明治維新と富国強兵<br>2節 立憲国家の成立                                    | 3 |
|    |   | 第13章 近代国家の展開<br>1節 日清・日露戦争と国際関係<br>2節 第一次世界大戦と日本<br>3節 ワシントン体制                | 4 |
|    | 1   | 第14章 近代の産業と生活<br>1節 近代産業の発展<br>2節 近代文化の発達<br>3節 市民生活の変容と大衆文化                  | 3 |
|    | 2   | 第15章 恐慌と第二次世界大戦<br>1節 恐慌の時代<br>2節 軍部の台頭<br>3節 第二次世界大戦                         | 4 |
|    |   | 第16章 占領下の日本<br>1節 占領と改革<br>2節 冷戦の開始と講和  | 2 |
|    |   | 第17章 高度成長の時代<br>1節 55年体制<br>2節 経済復興から高度経済成長へ                                  | 2 |
|    | 第18章 激動する世界と日本<br>1節 経済大国への道<br>2節 冷戦の終結と日本社会の変容<br>第4回考査 | 2   |   |

## 5 その他

- 様々な資料から多面的・多角的に考察するとともに、課題解決を視野に入れて構想する力を育成します。
- 授業ノートなどの定期的な提出があります。



年間指導計画表(シラバス)

|     |       |     |              |
|-----|-------|-----|--------------|
| 科目名 | 世界史探究 | 単位数 | 2単位          |
|     |       | 学年等 | 2年生普通科普通(文型) |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 世界史探究(東京書籍)<br>副教材 最新世界史図説タペストリー(帝国書院)  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-----|--|--|--|
| 趣旨  | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想し、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究し、国家及び社会の形成者として、課題を追究、解決しようとしている。 |
| 評価点 | 200点   | 200点   | 200点   |

3 評価の計画

| 考查 | 単元               | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度         |
|----|------------------|-------|----------|-----------------------|
| 1回 | 第1編 諸地域の歴史的特質    | 定期考查等 | 定期考查等    | 授業中の行動観察<br>プリントの記述分析 |
|    | 評価点              | 50点   | 50点      | 50点                   |
| 2回 | 第2編 諸地域の交流と再編    | 定期考查等 | 定期考查等    | 授業中の行動観察<br>プリントの記述分析 |
|    | 評価点              | 50点   | 50点      | 50点                   |
| 3回 | 第3編 一体化していく世界    | 定期考查等 | 定期考查等    | 授業中の行動観察<br>プリントの記述分析 |
|    | 評価点              | 50点   | 50点      | 50点                   |
| 4回 | 第4編 グローバル化と地球的課題 | 定期考查等 | 定期考查等    | 授業中の行動観察<br>プリントの記述分析 |
|    | 評価点              | 50点   | 50点      | 50点                   |

#### 4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数  |    |
|----|----|--|---|----|
| 前期 | 4  | 第1編 諸地域の歴史的特質<br>第1章 古代文明の出現   | 20  |    |
|    | 5  | 第2章 西アジアと地中海世界<br>第3章 南アジア   |   |    |
|    | 6  | 第4章 東南アジア<br>第5章 東アジアと中央アジア<br>第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ                      |   |    |
|    |    | 第1回考査  |   |    |
|    | 7  | 第2編 諸地域の交流と再編<br>第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄<br>第8章 中世ヨーロッパ<br>第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国  |   | 16 |
|    | 8  | 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア   |   |    |
|    | 9  | 第11章 大交易時代と世界の一体化<br>第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄<br>第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大      |   |    |
|    |    |  | 第2回考査   |    |
|    | 後期 | 10   | 第3編 一体化していく世界<br>第14章 国民国家と近代社会の形成<br>第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容<br>第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 | 14 |
| 11 |    | 第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容<br>第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦<br>第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア |   |    |
|    |    | 第3回考査  |   |    |
| 12 |    | 第20章 冷戦の世界化と国際制度   | 20  |    |
| 1  |    | 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化  |   |    |
| 2  |    | 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会   |   |    |
|    |    | 第4回考査  |   |    |

#### 5 その他

- 様々な資料(歴史史料、グラフ、絵画など)から情報を取得し、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題解決を視野に入れて構想する力を育成します。
- 単元ごとに、問いに対する答えを自分の言葉で表現します。歴史の学習によって獲得したいものは、特定の人物名、事象名に終始した知識ではありません。単元を学習していく中で、概念的な問いに対して多角的に考察し、自分の言葉で表現できるようになりましょう。皆さんの表現は、OPPAシートにより、主体的に学習に取り組む態度として評価します。

|     |      |     |               |
|-----|------|-----|---------------|
| 科目名 | 歴史総合 | 単位数 | 2単位           |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科創造表現コース |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 わたしたちの歴史 日本から世界へ(山川出版社)</p> <p>副教材 問いからはじまる歴史総合(東京法令出版)</p> <p>要点整理ゼミナール歴史総合(浜島書店)</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考査 | 単元  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度           |
|----|---|-------|----------|-------------------------|
| 1回 | [歴史の扉]<br>[第1部 近代化と私たち]<br>1~8                        | 定期考査等 | 定期考査等    | ・授業中の行動観察<br>・プリントの記述分析 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点                     |
| 2回 | [第1部 近代化と私たち]<br>9~14<br>[第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち]<br>1~8 | 定期考査等 | 定期考査等    | ・授業中の行動観察<br>・プリントの記述分析 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点                     |
| 3回 | [第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち]<br>9~18                         | 定期考査等 | 定期考査等    | ・授業中の行動観察<br>・プリントの記述分析 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点                     |
| 4回 | [第3部 グローバル化と私たち]<br>●今の私たちにつながる課題                     | 定期考査等 | 定期考査等    | ・授業中の行動観察<br>・プリントの記述分析 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点                     |

4 指導の計画

| 学期    | 月     | 単元及び学習内容  | 時数  |                                     |   |
|-------|-------|---|---|-------------------------------------|---|
| 前期    | 4     | [歴史の扉]<br>1 歴史と私たち<br>2 歴史と資料   | 2   |                                     |   |
|       | 5     | [第1部 近代化と私たち]<br>1 18世紀の世界とアジア<br>2 産業革命<br>3 アヘン戦争と日本<br>4 日本の開国<br>5 日本開国期の国際情勢 | 25  |                                     |   |
|       |       | 6   |   | 6 開国後の日本社会<br>7 市民革命と国民統合<br>8 明治維新 |   |
|       |       |   |   | 第1回考査                               |   |
|       |       |   |   | 7                                   | 9 富国強兵と文明開化<br>10 日本の明治初期の外交<br>11 大日本帝国憲法の制定<br>12 日本の産業革命と日清戦争<br>13 帝国主義         |
|       | 8     | 14 日露戦争と韓国併合<br>[第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち]<br>1 大衆運動の芽ばえ<br>2 第一次世界大戦                  | 26  |                                     |   |
|       |       | 9   |   |                                     | 3 第一次世界大戦と日本<br>4 ロシア革命とその影響<br>5 社会運動の広がり<br>6 国際協調<br>7 アジアの民族運動<br>8 大量生産・大量消費社会 |
|       | 第2回考査 |   |   |                                     |   |
|       | 後期    | 10  | 9 世界恐慌<br>10 独裁勢力の台頭<br>11 日本のアジア侵出<br>12 第二次世界大戦<br>13 第二次世界大戦と日本      | 15                                  |   |
|       |       | 11  | 14 第二次世界大戦の終結<br>15 戦後国際秩序<br>16 冷戦の始まり<br>17 日本の戦後改革と日本国憲法<br>18 日本の独立 |                                     |   |
| 第3回考査 |       |   |   |                                     |   |
| 12    |       |   | [第3部 グローバル化と私たち]<br>1 第三世界の登場<br>2 冷戦の固定化と「雪どけ」<br>3 冷戦の展開              |                                     |   |
|       |       |   | 1   |                                     | 4 55年体制と安保闘争<br>5 高度経済成長の光と影<br>6 ベトナム戦争とアメリカ<br>7 経済構造の変化                          |
|       |       | 2   |   |                                     | 8 日本の経済大国化<br>9 アジアの経済成長<br>10 社会主義の停滞と新自由主義  |
| 3     |       |   | 11 冷戦の終結<br>12 冷戦後の地域紛争<br>13 地域統合<br>14 現代世界の諸課題<br>15 日本の諸課題          |                                     |   |
|       |       |   | 第4回考査   |                                     |   |
|       |       | ●今の私たちにつながる課題   |   |                                     |   |
| 2     |       |   |   |                                     |   |

5 その他

- 様々な資料(歴史史料、グラフ、絵画など)から情報を取得し、多面的・多角的に考察する力を育成します。
- 単元を学習していく中で、概念的な問いに対して多角的に考察し、自分の言葉で表現できるようになりましょう。



様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |    |     |     |
|-----|----|-----|-----|
| 科目名 | 公共 | 単位数 | 2単位 |
|     |    | 学年等 | 2年生 |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 高等学校公共(第一学習社)<br>副教材 最新公共資料集 2023(第一学習社)  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度                                      |
|-----|--|--|--|
| 趣旨  | 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。 | よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 |
| 評価点 | 200点   | 200点   | 200点   |

3 評価の計画

| 考查 | 単元   | 知識・技能  | 思考・判断・表現       | 主体的に学習に取り組む態度     |
|----|--|--------|----------------|-------------------|
| 1回 | 〔第1編 公共の扉〕<br>第3章 公共的な空間における基本的原理<br>〔第2編 自立した主体としてのより社会の形成に参画する私たち〕<br>第1章 法的な主体となる私たち<br>第2章 政治的な主体となる私たち<br>(主題4 政治参加と公正な世論の形成<br>2 政治参加と世論形成 まで) | ・定期考查等 | ・定期考查等<br>・提出物 | ・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点            | 50点               |
| 2回 | 第2章 政治的な主体となる私たち<br>(主題7 国際社会の変化と日本の役割まで)  | ・定期考查等 | ・定期考查等<br>・提出物 | ・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点            | 50点               |

|    |  |        |                |                   |
|----|--|--------|----------------|-------------------|
| 3回 | 第3章 経済的な主体と私たち<br>(主題 12 財政の役割と社会保障 まで)                                | ・定期考査等 | ・定期考査等<br>・提出物 | ・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点            | 50点               |
| 4回 | 第4章 経済的な主体と私たち<br>(主題 13 経済のグローバル化 から)<br>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私<br>たち) | ・定期考査等 | ・定期考査等<br>・提出物 | ・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点            | 50点               |

#### 4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容  | 時数 |
|----|----|---|----|
| 前期 | 4  | [第1編 公共の扉]<br>第3章 公共的な空間における基本原理<br>[第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち]<br>第1章 法的な主体となる私たち<br>主題1 法や規範の意義と役割<br>主題2 契約と消費者の権利・責任<br>主題3 司法参加の意義<br>第2章 政治的な主体となる私たち<br>主題4 政治参加と公正な世論の形成(2 政治参加と世論形成 まで )<br><div style="text-align: right;">第1回考査</div> | 20 |
|    |    | [第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち]<br>第2章 政治的な主体となる私たち<br>主題4 政治参加と公正な世論の形成(3 国会と立法 から)<br>主題5 国際社会と国家主権<br>主題6 日本の安全保障と防衛<br>主題7 国際社会の変化と日本の役割<br><div style="text-align: right;">第2回考査</div>  | 16 |
| 後期 | 10 | [第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち]<br>第3章 経済的な主体となる私たち<br>主題8 雇用と労働問題<br>主題9 社会の変化と職業観<br>主題10 市場経済の機能と限界<br>主題11 金融のはたらき<br>主題12 財政の役割と社会保障<br><div style="text-align: right;">第3回考査</div>   | 14 |
|    |    | [第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち]<br>第3章 経済的な主体となる私たち<br>主題13 経済のグローバル化<br>[第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち]<br><div style="text-align: right;">第4回考査</div>  | 20 |

#### 5 その他

- 様々な資料から多面的・多角的に考察するとともに、課題解決を視野に入れて構想する力を育成する。
- 夏季休業中等に課題を課す。



年間指導計画表(シラバス)

|     |     |     |              |
|-----|-----|-----|--------------|
| 科目名 | 数学Ⅱ | 単位数 | 1単位          |
|     |     | 学年等 | 2年生普通科普通(文型) |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 数学Ⅱ(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅱ+B(数研出版)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|--|---|
| 趣旨  | 指数関数・対数関数、及び微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察できる。関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりできる。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 評価点 | 50点   | 50点  | 50点   |

3 評価の計画(後期から実施)

| 考查 | 単元   | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|--|--------|----------|--------------------------------|
| 1回 | 〔第5章〕 指数関数と対数関数<br>第1節 指数関数<br>第2節 対数関数                | ・定期考查  | ・定期考查    | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点  | 10点    | 10点      | 10点                            |
| 2回 |  |        |          |                                |
|    | 評価点  | 点      | 点        | 点                              |
| 3回 | 〔第6章〕 微分法と積分法<br>第1節 微分係数と導関数<br>第2節 導関数の応用<br>第3節 積分法 | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点  | 40点    | 40点      | 40点                            |
| 4回 |  |        |          |                                |
|    | 評価点  | 点      | 点        | 点                              |

4 指導の計画（後期から実施）

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容  | 時数 |
|----|----|---|----|
| 前期 |    | [第5章] 指数関数と対数関数<br>第1節 指数関数<br>第2節 対数関数<br><br>◆-----第1回考査<br><br><br>◆-----第2回考査 | 10 |
|    |    |   |    |
| 後期 | 11 | [第6章] 微分法と積分法<br>第1節 微分係数と導関数<br>第2節 導関数の応用<br>第3節 積分法                            | 25 |
|    | 12 | ◆-----第3回考査   |    |
|    | 1  |   |    |
|    | 2  | ◆-----第4回考査   |    |
|    | 3  |   |    |

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとめりに、基礎力テストを行います

様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |              |
|-----|------|-----|--------------|
| 科目名 | 数学 B | 単位数 | 2単位          |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科普通(文型) |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 数学 B(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅱ+B(数研出版)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|--|---|---|
| 趣旨  | 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察できる。確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりできる。日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりできる。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 評価点 | 100点   | 100点  | 100点  |

3 評価の計画

| 考查 | 単元  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|---|-------|----------|--------------------------------|
| 1回 | 評価点   | 点     | 点        | 点                              |
| 2回 | 〔第1章〕 指数関数と対数関数<br>第1節 数列とその和<br>第2節 数学的帰納法 | ・定期考查 | ・定期考查    | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点   | 60点   | 60点      | 60点                            |
| 3回 | 〔第2章〕<br>第1節 確率分布                           | ・定期考查 | ・定期考查    | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点   | 20点   | 20点      | 20点                            |
| 4回 | 第1節 統計的な推測                                  | ・定期考查 | ・定期考查    | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点   | 20点   | 20点      | 20点                            |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数    |       |
|----|----|------------|-------|-------|
| 前期 | 4  |            | 40    |       |
|    | 5  |            |       |       |
|    | 6  |            |       |       |
|    |    |            |       | 第1回考査 |
|    | 7  | 〔第1章〕      |       |       |
|    | 8  | 第1節 数列とその和 |       |       |
|    | 9  | 第2節 数学的帰納法 |       |       |
|    |    |            |       | 第2回考査 |
|    |    |            |       |       |
| 後期 | 10 | 〔第2章〕      | 10    |       |
|    | 11 | 第1節 確率分布   |       |       |
|    |    |            | 第3回考査 |       |
|    |    | 第2節 数列とその和 | 20    |       |
|    |    | 第4回考査      |       |       |

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとまりごとに、基礎力テストを行います

様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |              |
|-----|------|-----|--------------|
| 科目名 | 数学 C | 単位数 | 2単位          |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科普通(文型) |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 数学 C(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学 C(数研出版)(予定)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学 C(数研出版)(予定)</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|--|--|---|
| 趣旨  | ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できる。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察できる。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 | 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 評価点 | 100点   | 100点   | 100点  |

3 評価の計画

| 考査 | 単元  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|---|-------|----------|--------------------------------|
| 1回 | 〔第1章〕 平面上のベクトル<br>第1節 平面上のベクトルとその演算<br>第2節 ベクトルと平面図形<br>〔第2章〕 空間のベクトル | ・定期考査 | ・定期考査    | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点                            |
| 2回 |   |       |          |                                |
|    | 評価点   | 点     | 点        | 点                              |
| 3回 |   |       |          |                                |
|    | 評価点   | 点     | 点        | 点                              |
| 4回 | 〔第3章〕 複素数平面<br>〔第4章〕 式と曲線<br>第1節 2次曲線<br>第2節 媒介変数表示と極座標               | ・定期考査 | ・定期考査    | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点                            |

4 指導の計画

| 学期 | 月      | 単元及び学習内容   | 時数 |
|----|--------|--|----|
| 前期 | 5      | 〔第1章〕 平面上のベクトル<br>第1節 平面上のベクトルとその演算<br>第2節 ベクトルと平面図形                       | 40 |
|    | 6      | 〔第2章〕 空間のベクトル<br><br>◆-----第1回考査<br><br><br><br>◆-----第2回考査                |    |
| 後期 | 10     | <br><br>◆-----第3回考査  | 30 |
|    | 1<br>2 | 〔第3章〕 複素数平面<br>〔第4章〕 式と曲線<br>第1節 2次曲線<br>第2節 媒介変数表示と極座標<br><br>◆-----第4回考査 |    |

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとめりに、基礎力テストを行います



年間指導計画表(シラバス)

|     |     |     |              |
|-----|-----|-----|--------------|
| 科目名 | 数学Ⅱ | 単位数 | 1単位          |
|     |     | 学年等 | 2年生普通科普通(理型) |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 数学Ⅱ(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅱ+B(数研出版)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|--|---|
| 趣旨  | 指数関数・対数関数、及び微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察できる。関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりできる。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点   | 200点  |

3 評価の計画(後期から実施)

| 考查 | 単元              | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|-----------------|--------|----------|--------------------------------|
| 1回 | 〔第5章〕 指数関数と対数関数 | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点             | 50点    | 50点      | 50点                            |
| 2回 |                 |        |          |                                |
|    | 評価点             | 点      | 点        | 点                              |
| 3回 | 〔第6章〕 微分法と積分法   | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点             | 150点   | 150点     | 150点                           |
| 4回 |                 |        |          |                                |
|    | 評価点             | 点      | 点        | 点                              |

4 指導の計画（後期から実施）

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容  | 時数 |
|----|----|---|----|
| 前期 | 4  | [第5章] 指数関数と対数関数<br>第1節 指数関数<br>第2節 対数関数<br><br>◆-----第1回考査<br><br>◆-----第2回考査 | 10 |
|    |    |   |    |
| 後期 | 10 | [第6章] 微分法と積分法<br>第1節 微分係数と導関数<br>第2節 導関数の応用<br>第3節 積分法<br><br>◆-----第3回考査     | 25 |
|    | 11 |   |    |
|    | 12 |   |    |
|    | 1  | ◆-----第4回考査   |    |
|    | 2  |   |    |
|    | 3  |   |    |

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとめごとに、基礎力テストを行います

様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |     |     |              |
|-----|-----|-----|--------------|
| 科目名 | 数学Ⅲ | 単位数 | 1 単位         |
|     |     | 学年等 | 2年生普通科普通(理型) |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 数学Ⅲ(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版)(予定)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅲ+C(数研出版)(予定)</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 | 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察できる。関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察できる。いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりできる。 | 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考查 | 単元  | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|---|--------|----------|--------------------------------|
| 1回 |   |        |          |                                |
|    | 評価点   | 点      | 点        | 点                              |
| 2回 |   |        |          |                                |
|    | 評価点   | 点      | 点        | 点                              |
| 3回 |   |        |          |                                |
|    | 評価点   | 点      | 点        | 点                              |
| 4回 | 〔第1章〕関数<br>〔第2章〕極限<br>〔第3章〕微分法<br>〔第4章〕微分法の応用 | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点   | 200点   | 200点     | 200点                           |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容                                | 時数 |
|----|----|---|----|
| 前期 |    | ◆-----第1回考査                             |    |
|    |    | ◆-----第2回考査                             |    |
| 後期 | 10 | ◆-----第3回考査                             |    |
|    | 12 | 〔第1章〕関数                                 | 8  |
|    | 1  | 〔第2章〕極限<br>第1節 数列の極限<br>第2節 関数の極限       | 9  |
|    | 2  | 〔第3章〕微分法<br>第1節 導関数<br>第2節 いろいろな関数の導関数  | 9  |
|    |    | 〔第4章〕微分法の応用<br>第1節 導関数の応用<br>第2節 速度と近似式 | 9  |
|    |    | ◆-----第4回考査                             |    |

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとめごとに、基礎力テストを行います。

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |              |
|-----|------|-----|--------------|
| 科目名 | 数学 B | 単位数 | 2単位          |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科普通(理型) |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布などの性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の結果などを批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 数学 B(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅱ+B(数研出版)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|--|---|---|
| 趣旨  | 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察できる。確率分布などの性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の結果などを批判的に考察したりできる。日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりできる。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 評価点 | 400点   | 400点  | 400点  |

3 評価の計画

| 考查 | 単元                        | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|---------------------------|--------|----------|--------------------------------|
| 1回 | 評価点                       | 点      | 点        | 点                              |
| 2回 | 〔第1章〕数列                   | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点                       | 250点   | 250点     | 250点                           |
| 3回 | 〔第2章〕統計的な推測<br>第1節 確率分布   | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点                       | 100点   | 100点     | 100点                           |
| 4回 | 〔第2章〕統計的な推測<br>第2節 統計的な推測 | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点                       | 50点    | 50点      | 50点                            |

4 指導の計画

| 学期 | 月           | 単元及び学習内容                 | 時数 |
|----|-------------|--------------------------|----|
| 前期 | 4           | 〔第1章〕 数列<br>第1節 数列とその和   | 5  |
|    | 7           | ◆-----第1回考查              | 40 |
|    | 8           | 第2節 数学的帰納法               |    |
|    | 9           |                          |    |
| 10 | ◆-----第2回考查 |                          |    |
| 後期 | 10          | 〔第2章〕 統計的な推測<br>第1節 確率分布 | 10 |
|    | 12          | ◆-----第3回考查              | 15 |
|    |             | 第2節 統計的な推測               |    |
|    |             | ◆-----第4回考查              |    |

5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとめごとに、基礎力テストを行います



年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |              |
|-----|------|-----|--------------|
| 科目名 | 数学 C | 単位数 | 1単位          |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科普通(理型) |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 数学 C(数研出版)</p> <p>副教材 新課程チャート式基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版)(予定)</p> <p>新課程教科書傍用サクシード数学Ⅲ+C(数研出版)(予定)</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|--|--|---|
| 趣旨  | ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できる。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察できる。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 | 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 評価点 | 200点   | 200点   | 200点  |

3 評価の計画

| 考查 | 単元                            | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|-------------------------------|--------|----------|--------------------------------|
| 1回 | 〔第1章〕平面上のベクトル<br>〔第2章〕空間のベクトル | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点                           | 200点   | 200点     | 200点                           |
| 2回 |                               |        |          |                                |
|    | 評価点                           | 点      | 点        | 点                              |
| 3回 |                               |        |          |                                |
|    | 評価点                           | 点      | 点        | 点                              |
| 4回 |                               |        |          |                                |
|    | 評価点                           | 点      | 点        | 点                              |

#### 4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容  | 時数 |
|----|----|---|----|
| 前期 | 5  | 〔第1章〕 平面上のベクトル<br>第1節 平面上のベクトルとその演算<br>第2節 ベクトルと平面図形<br><br>〔第2章〕 空間のベクトル | 20 |
|    | 6  |   | 15 |
| 後期 | 10 | ◆-----第1回考査   |    |
|    |    | ◆-----第2回考査   |    |
| 後期 | 10 | ◆-----第3回考査   |    |
|    |    | ◆-----第4回考査   |    |

#### 5 その他

- 学習課題の定期的な提出があります。
- 学習する内容のまとめりに、基礎力テストを行います

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |               |
|-----|------|-----|---------------|
| 科目名 | 数学 A | 単位数 | 2単位           |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科創造表現コース |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動に関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 高等学校 数学 A(数研出版)</p> <p>副教材 新課程教科書傍用 基本と演習テーマ数学 A</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | 図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。事象に数学の構造を見だし数理的に考察することができる。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 評価点 | 100点  | 100点  | 100点  |

3 評価の計画 (1回, および2回で実施)

| 考查 | 単元                                  | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|-------------------------------------|--------|----------|--------------------------------|
| 1回 | 〔第1章〕 場合の数と確率<br>第1節 場合の数<br>第2節 確率 | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点                                 | 50点    | 50点      | 50点                            |
| 2回 | 〔第2章〕 図形の性質<br>第1節 平面図形<br>第2節 空間図形 | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・基礎力テスト等 |
|    | 評価点                                 | 50点    | 50点      | 50点                            |
| 3回 |                                     |        |          |                                |
|    | 評価点                                 | 点      | 点        | 点                              |
| 4回 |                                     |        |          |                                |
|    | 評価点                                 | 点      | 点        | 点                              |

4 指導の計画（1回, および2回で実施）

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容                            | 時数 |
|----|----|-------------------------------------|----|
| 前期 | 4  | 〔第1章〕 場合の数と確率<br>第1節 場合の数<br>第2節 確率 | 20 |
|    | 7  | ◆-----<br>第1回考査                     |    |
|    | 8  | 〔第2章〕 図形の性質<br>第1節 平面図形             | 15 |
|    | 9  | 第2章 空間図形<br>◆-----<br>第2回考査         |    |
| 後期 | 10 | ◆-----<br>第3回考査                     |    |
|    |    | ◆-----<br>第4回考査                     |    |

5 その他

学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

|     |       |     |               |
|-----|-------|-----|---------------|
| 科目名 | 数学演習α | 単位数 | 2単位           |
|     |       | 学年等 | 2年生普通科創造表現コース |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>既習事項の内容について、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を発展的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考察する力、ある事象に着目し、既習の性質などに基づいて判断する力、事象を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、数学の構造を見だし、数理的に考察する発展的な力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 高等学校 数学 I (数研出版) 高等学校 数学 A(数研出版)</p> <p>副教材 大学入学共通テスト準備問題集数学 I・A(数研出版)</p> <p>自校作成プリント</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-----|---|---|--|
| 趣旨  | 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を発展的に身に付けている。 | 論理的に考察する力、ある事象に着目し、既習の性質などに基づいて判断する力、事象を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、数学の構造を見だし、数理的に考察する発展的な力を身に付けている。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を身に付けている。 |
| 評価点 | 100点  | 100点  | 100点   |

3 評価の計画 (3回, および4回で実施)

| 考査 | 単元  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                 |
|----|---|-------|----------|-------------------------------|
| 1回 |   |       |          |                               |
|    | 評価点   | 点     | 点        | 点                             |
| 2回 |   |       |          |                               |
|    | 評価点   | 点     | 点        | 点                             |
| 3回 | 数学 I : 数と式 2次関数                             | ・定期考査 | ・定期考査    | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・確認テスト等 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点                           |
| 4回 | 数学 I : 図形と計量 データの分析<br>数学 A : 場合の数と確率 図形の性質 | ・定期考査 | ・定期考査    | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・確認テスト等 |
|    | 評価点   | 50点   | 50点      | 50点                           |

4 指導の計画（3回, および4回で実施）

| 学期 | 月           | 単元及び学習内容         | 時数 |
|----|-------------|------------------|----|
| 前期 | 4           | ◆-----第1回考査      |    |
|    |             | ◆-----第2回考査      |    |
| 後期 | 10          | [数学 I]数と式の演習     | 12 |
|    | 11          | [数学 I]2次関数の演習    | 16 |
|    |             | ◆-----第3回考査      | 1  |
|    |             | [数学 I]図形と計量の演習   | 8  |
|    | 12          | [数学 I]データの分析の演習  | 4  |
|    | 1           | [数学 A]場合の数と確率の演習 | 12 |
|    | 2           | [数学 A]図形の性質の演習   | 16 |
| 3  | ◆-----第4回考査 | 1                |    |

5 その他

学習課題の定期的な提出があります。



様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |              |
|-----|------|-----|--------------|
| 科目名 | 化学基礎 | 単位数 | 2単位          |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科普通(文型) |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 高等学校化学基礎(啓林館)</p> <p>副教材 セミナー化学基礎(第一学習社) フォトサイエンス化学図録(数研出版)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                      |
|-----|--|---|--|
| 趣旨  | 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 | 物質とその変化から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 | 物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| 評価点 | 200点   | 200点  | 200点   |

3 評価の計画

| 考査 | 単元  | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                   |
|----|---|--------|----------|---------------------------------|
| 1回 | 〔第1部 物質の構成〕<br>第1章 物質の構成<br>第2章 物質の構成粒子<br>第3章 化学結合 | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題              |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点                             |
| 2回 | 〔第2部 物質の変化〕<br>第1章 物質と化学反応式                         | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・実験ワークシート |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点                             |
| 3回 | 第2章 酸と塩基  | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・実験ワークシート |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点                             |
| 4回 | 第3章 酸化還元反応<br>第4章 化学が拓く世界                           | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・実験ワークシート |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点                             |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容  | 時数  |  |
|----|----|---|---|--|
| 前期 | 4  | 〔第1部 物質の構成〕<br>第1章 物質の構成<br>第1節 純物質と混合物<br>第2節 物質とその成分<br>第3節 粒子の熱運動と物質の三態  | 3   |  |
|    | 5  | 第2章 物質の構成粒子<br>第1節 原子の構造と電子配置<br>第2節 イオン<br>第3節 元素の周期表  | 5   |  |
|    |    | 6   | 第3章 化学結合<br>第1節 イオン結合<br>第2節 共有結合<br>第3節 金属結合<br>第4節 物質の分類と融点 | 12   |
|    |    |   |   | 第1回考査  |
|    | 7  | 〔第2部 物質の変化〕<br>第1章 物質量と化学反応式<br>第1節 原子量・分子量・式量  | 16  |  |
|    |    | 8   |   | 第2節 物質量(mol)   |
|    |    | 9   |   | 第3節 化学反応式と化学変化の量的関係 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 化学変化の量的関係</span> |
|    |    |   |   | 第2回考査  |
|    | 後期 | 10  | 第2章 酸と塩基<br>第1節 酸と塩基  | 14   |
| 11 |    | 第2節 水の電離とpH<br>第3節 酸・塩基の中和と塩 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 中和滴定</span>  | 19  |  |
|    |    |   |   | 第3回考査  |
| 12 |    | 第3章 酸化還元反応<br>第1節 酸化と還元   | 1   |  |
| 1  |    | 第2節 酸化剤と還元剤 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 酸化剤と還元剤の反応</span>   |   |  |
| 2  |    | 第3節 金属の酸化還元反応 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 金属のイオン化傾向</span><br>第4節 酸化還元反応の利用 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 電池</span> |   |  |
|    |    | 第4章 化学が拓く世界   | 第4回考査   |  |

5 その他

- 第2部では観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |              |
|-----|------|-----|--------------|
| 科目名 | 地学基礎 | 単位数 | 2単位          |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科普通(文型) |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との連携を図りながら、地球や地球をとりまく環境についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを通じて、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 高等学校 地学基礎(啓林館)</p> <p>副教材 セミナー地学基礎(第一学習社) リード Light ノート地学基礎(数研出版)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 観察、実験などを通して地学的な事物・無検証に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につけている。 | 地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考察したり、分析したりすることにより問題を解決し、総合的・科学的に判断し、それを表現することができる。 | 地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、主体的・意欲的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を身につけ、地学に対する興味・関心を高めている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考査 | 単元              | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                 |
|----|-----------------|--------|----------|-------------------------------|
| 1回 | 〔第1部 固体地球とその活動〕 | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点             | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 2回 | 〔第2部 大気と海洋〕     | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点             | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 3回 | 〔第3部 移り変わる地球〕   | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点             | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 4回 | 〔第4部 自然との共生〕    | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点             | 50点    | 50点      | 50点                           |

4 指導の計画

| 学期 | 月   | 単元及び学習内容                 | 時数                        |   |
|----|---|--------------------------|---------------------------|---|
| 前期 | 4   | [第1部] 固体地球とその活動          | 12                        |   |
|    | 5   | 第1章 地球                   |                           |   |
|    | 6   | 第1節 地球の概観<br>第2節 地球の内部構造 |                           |   |
|    |   |                          | 第2章 活動する地球                | 8 |
|    |   |                          | 第1節 プレレートテクトニクスと地球の活動     |   |
|    |   |                          | 第2節 地震<br>第3節 火山活動と火成岩の形成 |   |
|    |   |                          | 第1回考査                     |   |
|    | 6   | [第2部] 大気と海洋              | 6                         |   |
|    |   | 第1章 大気構造                 |                           |   |
| 7  | 第1節 大気圏<br>第2節 水と気象                       | 6                        |                           |   |
|    | 第2章 太陽放射と大気・海水の運動                         |                          |                           |   |
| 8  | 第1節 地球のエネルギー収支<br>第2節 大気の大循環<br>第3節 海水の循環 |                          |                           |   |
| 9  | 第3章 日本の天気                                 | 4                        |                           |   |
|    | 第1節 日本の位置                                 |                          |                           |   |
|    | 第2節 冬から春の天気<br>第3節 夏から秋の天気                |                          |                           |   |
|    |   | 第2回考査                    |                           |   |
| 後期 | 10  | [第3部] 移り変わる地球            | 7                         |   |
|    |   | 第1章 地球の誕生                |                           |   |
|    |   | 第1節 宇宙の誕生<br>第2節 太陽系の誕生  | 7                         |   |
|    | 11  | 第2章 地球の生命の進化             |                           |   |
|    |   | 第1節 先カンブリア時代<br>第2節 顕生代  | 第3回考査                     |   |
|    | 12  | [第3部] 地球史の読み方            | 6                         |   |
|    | 第1節 地層からわかること<br>第2節 地層の形成<br>第3節 地層の読み方  |                          |                           |   |
| 1  | [第4部] 自然との共生                              | 14                       |                           |   |
|    | 第1節 地球環境と人類                               |                          |                           |   |
|    | 第2節 地震災害・火山災害                             |                          |                           |   |
| 2  | 第3節 気象災害<br>第4節 災害と社会<br>第5節 人間生活と地球環境の変化 |                          |                           |   |
|    |   |                          | 第4回考査                     |   |

5 その他

- 観察や実験などによる探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

|     |    |     |              |
|-----|----|-----|--------------|
| 科目名 | 物理 | 単位数 | 2単位          |
|     |    | 学年等 | 2年生普通科普通(理型) |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>「物理基礎」との関連を図りながら、物理的な事物・現象を更に深く取り扱い、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 高等学校 物理 (第一学習社)<br>副教材 セミナー物理基礎+物理(第一学習社)   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度                            |
|-----|---|--|--|
| 趣旨  | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 | 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 | 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点   | 200点                                     |

3 評価の計画

| 考査 | 単元  | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                 |
|----|---|--------|----------|-------------------------------|
| 1回 | 第Ⅱ章波動<br>第1節 波の性質<br>第2節 音波               | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点                                       | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 2回 | 第3節 光波<br>① 光の性質<br>② レンズと鏡               | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点                                       | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 3回 | 第3節光波<br>③ 光の回折と干渉                        | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点                                       | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 4回 | 第Ⅰ章 運動とエネルギー<br>第2節 剛体のつりあい<br>第3節 運動量の保存 | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点                                       | 50点    | 50点      | 50点                           |



#### 4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容                                 | 時数 |
|----|----|--|----|
| 前期 | 4  | 第Ⅱ章 波動                                   | 20 |
|    | 5  | 第1節 波の性質<br>① 正弦波 ② 波の伝わり方               |    |
|    | 6  | 第2節 音波<br>① 音の伝わり方 ② ドップラー効果             |    |
|    | 7  | ◆-----<br>第3節 光波                         |    |
|    | 8  | ① 光の性質 ② レンズと鏡                           |    |
|    | 9  | ◆-----<br>第1回考査                          |    |
|    | 10 | ③ 光の回折と干渉                                |    |
|    | 11 | ◆-----<br>第3回考査                          |    |
|    | 12 | 第Ⅰ章 運動とエネルギー                             |    |
| 後期 | 1  | 第2節 剛体のつりあい                              | 20 |
|    | 2  | ① 剛体にはたらく力とその合力 ② 剛体の重心とつりあい             |    |
|    | 3  | 第3節 運動量の保存<br>① 運動量と力積 ② 運動量保存の法則 ③ 反発係数 |    |
|    |    | ◆-----<br>第4回考査                          |    |

#### 5 その他

- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |              |
|-----|------|-----|--------------|
| 科目名 | 化学基礎 | 単位数 | 2単位          |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科普通(理型) |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 高等学校化学基礎(啓林館)</p> <p>副教材 セミナー化学基礎+化学(第一学習社) フォトサイエンス化学図録(数研出版)</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                      |
|-----|--|---|--|
| 趣旨  | 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 | 物質とその変化から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 | 物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| 評価点 | 100点   | 100点  | 100点   |

3 評価の計画

| 考查 | 単元  | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                   |
|----|---|--------|----------|---------------------------------|
| 1回 | <p>[第1部 物質の構成]</p> <p>第1章 物質の構成</p> <p>第2章 物質の構成粒子</p> <p>第3章 化学結合</p> <p>[第2部 物質の変化]</p> <p>第1章 物質と化学反応式</p> | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題              |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点                             |
| 2回 | <p>第2章 酸と塩基</p> <p>第3章 酸化還元反応</p> <p>第4章 化学が拓く世界</p>  | ・定期考査等 | ・定期考査等   | ・授業中の行動観察<br>・学習課題<br>・実験ワークシート |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点                             |

4 指導の計画

| 学期 | 月 | 単元及び学習内容   | 時数                              |    |
|----|---|--|---------------------------------|----|
| 前期 | 4 | [第1部 物質の構成]  | 3                               |    |
|    |   | 第1章 物質の構成  |                                 |    |
|    |   | 第1節 純物質と混合物<br>第2節 物質とその成分<br>第3節 粒子の熱運動と物質の三態   |                                 |    |
|    | 5 | 第2章 物質の構成粒子  | 6                               |    |
|    |   | 第1節 原子の構造と電子配置<br>第2節 イオン  |                                 |    |
|    |   | 第3節 元素の周期表   |                                 |    |
|    | 6 | 第3章 化学結合   | 13                              |    |
|    |   | 第1節 イオン結合<br>第2節 共有結合  |                                 |    |
|    |   | 第3節 金属結合<br>第4節 物質の分類と融点   |                                 |    |
|    |   |  | [第2部 物質の変化]                     |    |
|    |   |  | 第1章 物質と化学反応式                    | 18 |
|    |   |  | 第1節 原子量・分子量・式量<br>第2節 物質質量(mol) |    |
|    |   | 第3節 化学反応式と化学変化の量的関係 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 化学変化の量的関係</span>                 |                                 |    |
|    |   | 第1回考査  |                                 |    |
|    |   | ◆ 第2章 酸と塩基   | 15                              |    |
|    |   | 第1節 酸と塩基<br>第2節 水の電離とpH<br>第3節 酸・塩基の中和と塩 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 中和滴定</span> |                                 |    |
|    |   | ◆ 第3章 酸化還元反応   |                                 |    |
|    |   | 第1節 酸化と還元  | 15                              |    |
|    |   | 第2節 酸化剤と還元剤 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 酸化剤と還元剤の反応</span>                        |                                 |    |
|    |   | 第3節 金属の酸化還元反応 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 金属のイオン化傾向</span>                       |                                 |    |
|    |   | 第4節 酸化還元反応の利用 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 電池</span>                              |                                 |    |
|    |   | 第4章 化学が拓く世界  |                                 |    |
|    |   | 第2回考査  |                                 |    |

その他

- 前期のみで終了します。
- 第2部では観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |    |     |              |
|-----|----|-----|--------------|
| 科目名 | 化学 | 単位数 | 2単位          |
|     |    | 学年等 | 2年生普通科普通(理型) |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 高等学校化学(啓林館)</p> <p>副教材 セミナー化学基礎+化学(第一学習社) フォトサイエンス化学図録(数研出版)</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-----|---|---|--|
| 趣旨  | 化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。 | 化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 | 化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| 評価点 | 100点  | 100点  | 100点   |

3 評価の計画

| 考查 | 単元  | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度   |
|----|---|--------|----------|---|
| 3回 | <p>〔第2部 物質の変化と平衡〕</p> <p>第2章 化学反応と電気エネルギー</p> <p>第1章 化学反応と熱・光エネルギー</p> <p>〔第1部 物質の状態〕</p> <p>第1章 固体の構造</p> <p>第2章 物質の状態変化</p> <p>第3章 気体の性質</p> <p>第4章 液体の性質</p> | ・定期考查等 | ・定期考查等   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習課題</li> <li>・実験ワークシート</li> </ul> |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点   |
| 4回 | <p>〔第3部 無機物質〕</p> <p>第1章 周期表と元素の分類</p> <p>第2章 非金属元素</p> <p>第3章 典型金属元素</p> <p>第4章 遷移元素</p>   | ・定期考查等 | ・定期考查等   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・学習課題</li> <li>・実験ワークシート</li> </ul> |
|    | 評価点   | 50点    | 50点      | 50点   |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数 |
|----|----|--|----|
| 後期 | 10 | 〔第2部 物質の変化と平衡〕<br>第2章 化学反応と電気エネルギー<br>第1節 電池 第2節 電気分解 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 電池</span>  | 5  |
|    |    | 第1章 化学反応と熱・光エネルギー<br>第1節 反応熱とエンタルピー 第2節 ハスの法則<br>第3節 化学反応と光  | 5  |
|    | 11 | 〔第1部 物質の状態〕<br>第1章 固体の構造<br>第1節 化学結合と結晶 第2節 結晶の構造<br>第3節 アモルファス(非晶質)   | 2  |
|    |    | 第2章 物質の状態変化<br>第1節 状態変化 第2節 気液平衡と蒸気圧   | 2  |
|    |    | 第3章 気体の性質<br>第1節 気体の体積の変化 第2節 気体の状態方程式   | 8  |
|    |    | 第4章 溶液の性質<br>第1節 溶解と溶解度 第2節 希薄溶液の性質<br>第3節 コロイド <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 コロイドの性質</span>   | 8  |
|    |    | 第3回考査  |    |
|    |    | ◆-----<br>〔第3部 無機物質〕   |    |
|    |    | 第1章 周期表と元素の分類<br>第1節 周期表と元素の分類   | 2  |
|    |    | 第2章 非金属元素<br>第1節 水素と貴ガス 第2節 ハロゲン <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 塩素と塩化水素</span><br>第3節 酸素・硫黄 第4節 窒素・リン <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 アンモニアと硝酸</span><br>第5節 炭素・ケイ素 | 15 |
|    |    | 第3章 典型金属元素<br>第1節 アルカリ金属<br>第2節 アルカリ土類金属 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 アルカリ金属とアルカリ土類金属</span><br>第3節 アルミニウム 第4節 スズ・鉛   | 10 |
|    |    | 第3章 遷移元素<br>第1節 遷移元素 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究活動 遷移金属イオンの反応</span><br>第2節 金属イオンの分離と確認  | 13 |
|    |    | ◆-----<br>第4回考査  |    |

その他

- 後期から始まります。
- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。



## 年間指導計画表(シラバス)

|     |    |     |              |
|-----|----|-----|--------------|
| 科目名 | 生物 | 単位数 | 2単位          |
|     |    | 学年等 | 2年生普通科普通(理型) |

## 1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 高等学校生物(第一学習社)<br>副教材 セミナー生物(第一学習社) スクエア最新図説生物(第一学習社)   |

## 2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                      |
|-----|--|---|--|
| 趣旨  | 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 | 生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 | 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| 評価点 | 200点   | 200点  | 200点   |

## 3 評価の計画

| 考查 | 単元   | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                 |
|----|--|--------|----------|-------------------------------|
| 1回 | 〔第1章 生物の進化〕  | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 2回 | 〔第2章 生物の系統と進化〕<br>〔第3章 細胞と分子〕<br>第1節 生体物質と細胞<br>第2節 タンパク質の構造と性質            | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 3回 | 〔第3章 細胞と分子〕<br>第3節 生命現象とタンパク質<br>〔第4章 代謝〕<br>第1節 代謝とエネルギー<br>第2節 炭酸同化      | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 4回 | 〔第4章 代謝〕<br>第3節 異化<br>〔第5章 遺伝情報とその発現〕<br>〔第6章 遺伝子の発現調節と発生〕<br>第1節 遺伝子の発現調節 | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点  | 50点    | 50点      | 50点                           |

4 指導の計画

| 学期 | 月     | 単元及び学習内容  | 時数     |
|----|-------|---|--------|
| 前期 | 4     | [第1編] 生物の進化と系統<br>第1章 生物の進化                     |        |
|    | 5     | 第1節 生命の起源と細胞の進化                                 | 3      |
|    |       | 第2節 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化                         | 9      |
|    | 6     | 第3節 進化のしくみ<br>実験 生存に不利なアレルの遺伝子頻度の変化について考えよう     | 8      |
|    |       | 第1回考査   |        |
|    | 6     | 第2章 生物の系統と進化<br>第1節 生物の系統                       | 8      |
|    | 7     | 第2節 人類の系統と進化                                    | 2      |
|    | 8     | [第2編] 生命現象と物質<br>第3章 細胞と分子                      |        |
|    | 9     | 第1節 生体物質と細胞<br>第2節 タンパク質の構造と性質                  | 4<br>2 |
|    | 第2回考査 |   |        |
| 後期 | 10    | 第3節 生命現象とタンパク質<br>実験 酵素カタラーゼの働き                 | 6      |
|    | 11    | 第4章 代謝<br>第1節 代謝とエネルギー                          | 1      |
|    | 12    | 第2節 炭酸同化<br>実験 緑葉に含まれる色素                        | 7      |
|    |       | 第3回考査   |        |
|    | 12    | 第3節 異化<br>実験 脱水素酵素による酸化還元反応の確認<br>実験 アルコール発酵    | 8      |
|    | 1     | [第3編] 遺伝情報の発現と発生<br>第5章 遺伝情報とその発現<br>第1節 DNAの複製 | 4      |
|    | 2     | 第2節 遺伝子の発現<br>第6章 遺伝子の発現調節と発生<br>第1節 遺伝子の発現調節   | 4<br>4 |
|    |       | 第4回考査   |        |

5 その他

- 観察や実験による探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |               |
|-----|------|-----|---------------|
| 科目名 | 地学基礎 | 単位数 | 2単位           |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科創造表現コース |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との連携を図りながら、地球や地球をとりまく環境についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを通じて、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 高等学校 地学基礎(啓林館)</p> <p>副教材 セミナー地学基礎(第一学習社) リード Light ノート地学基礎(数研出版)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 観察、実験などを通して地学的な事物・無検証に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につけている。 | 地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考察したり、分析したりすることにより問題を解決し、総合的・科学的に判断し、それを表現することができる。 | 地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、主体的・意欲的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を身につけ、地学に対する興味・関心を高めている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考查 | 単元              | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                 |
|----|-----------------|--------|----------|-------------------------------|
| 1回 | 〔第1部 固体地球とその活動〕 | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点             | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 2回 | 〔第2部 大気と海洋〕     | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点             | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 3回 | 〔第3部 移り変わる地球〕   | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点             | 50点    | 50点      | 50点                           |
| 4回 | 〔第4部 自然との共生〕    | ・定期考查等 | ・定期考查等   | ・授業中の行動観察<br>・実験レポート<br>・学習課題 |
|    | 評価点             | 50点    | 50点      | 50点                           |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容                 | 時数                        |   |
|----|--|--------------------------|---------------------------|---|
| 前期 | 4  | [第1部] 固体地球とその活動          | 12                        |   |
|    | 5  | 第1章 地球                   |                           |   |
|    | 6  | 第1節 地球の概観<br>第2節 地球の内部構造 |                           |   |
|    |  |                          | 第2章 活動する地球                | 8 |
|    |  |                          | 第1節 プレレートテクトニクスと地球の活動     |   |
|    |  |                          | 第2節 地震<br>第3節 火山活動と火成岩の形成 |   |
|    |  |                          | 第1回考査                     |   |
|    | 6  | [第2部] 大気と海洋              | 6                         |   |
|    |  | 第1章 大気 of 構造             | 6                         |   |
| 7  | 第1節 大気圏<br>第2節 水と気象                      |                          |                           |   |
|    | 第2章 太陽放射と大気・海水の運動                        |                          |                           |   |
| 8  | 第1節 地球のエネルギー収支<br>第2節 大気の大循環             | 4                        |                           |   |
| 9  | 第3節 海水の循環                                |                          |                           |   |
|    | 第3章 日本の天気                                | 4                        |                           |   |
|    | 第1節 日本の位置<br>第2節 冬から春の天気                 |                          |                           |   |
|    | 第3節 夏から秋の天気                              |                          |                           |   |
|    |  | 第2回考査                    |                           |   |
| 後期 | 10                                       | [第3部] 移り変わる地球            | 7                         |   |
|    |  | 第1章 地球の誕生                | 7                         |   |
|    | 11                                       | 第1節 宇宙の誕生<br>第2節 太陽系の誕生  |                           |   |
|    |  | 第2章 地球の生命の進化             | 6                         |   |
|    |  | 第1節 先カンブリア時代<br>第2節 顕生代  |                           |   |
|    |  |                          | 第3回考査                     |   |
|    | 12                                       | 第3章 地球史の読み方              | 6                         |   |
|    | 第1節 地層からわかること<br>第2節 地層の形成<br>第3節 地層の読み方 | 14                       |                           |   |
| 1  | [第4部] 自然との共生                             |                          |                           |   |
|    | 第1節 地球環境と人類<br>第2節 地震災害・火山災害             |                          |                           |   |
|    | 第3節 気象災害<br>第4節 災害と社会                    |                          |                           |   |
| 2  | 第5節 人間生活と地球環境の変化                         |                          |                           |   |
|    |  | 第4回考査                    |                           |   |

5 その他

- 観察や実験などによる探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- 学習課題の定期的な提出があります。

年間指導計画表(シラバス)

|     |    |     |     |
|-----|----|-----|-----|
| 科目名 | 体育 | 単位数 | 3単位 |
|     |    | 学年等 | 2年生 |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や 仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 現代高等保健体育 (大修館)</p> <p>副教材 本校体育実技用ファイル ステップアップ高校スポーツ(大修館)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-----|--|--|--|
| 趣旨  | 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 | 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。 |
| 評価点 | 400点   | 400点   | 400点   |

3 評価の計画

| 考査 | 単元   | 知識・技能                       | 思考・判断・表現              | 主体的に学習に取り組む態度        |
|----|--|-----------------------------|-----------------------|----------------------|
| 1回 | オリエンテーション 体づくり運動<br>選択Ⅰ<br>陸上競技、器械運動、水泳、ダンス、球技から<br>選択 | スキルテスト<br>ルールテスト等           | ファイルの記述分析<br>授業中の行動観察 | 授業への参加状況<br>授業中の行動観察 |
|    | 評価点  | 100点                        | 100点                  | 100点                 |
| 2回 | 選択Ⅱ<br>ダンス   | スキルテスト<br>ルールテスト等           | ファイルの記述分析<br>授業中の行動観察 | 授業への参加状況<br>授業中の行動観察 |
|    | 評価点  | 100点                        | 100点                  | 100点                 |
| 3回 | 体育理論<br>選択Ⅲ<br>球技、武道から選択                               | 小テスト3回<br>スキルテスト<br>ルールテスト等 | ファイルの記述分析<br>授業中の行動観察 | 授業への参加状況<br>授業中の行動観察 |
|    | 評価点  | 100点                        | 100点                  | 100点                 |
| 4回 | 体育理論<br>陸上競技<br>選択Ⅳ<br>アルティメット                         | 小テスト3回<br>スキルテスト<br>ルールテスト等 | ファイルの記述分析<br>授業中の行動観察 | 授業への参加状況<br>授業中の行動観察 |
|    | 評価点  | 100点                        | 100点                  | 100点                 |



#### 4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数               |
|----|----|--|------------------|
| 前期 | 4  | オリエンテーション<br>体づくり運動(集団行動、トレーニング、ラジオ体操等)                      | 6                |
|    | 5  | 選択Ⅰ  | 18               |
|    | 6  | 陸上競技、器械運動、水泳、ダンス、球技から選択<br>第1回考査                             |                  |
|    | 7  | 選択Ⅱ  | 21               |
|    |    | ダンス  |                  |
|    |    | 体づくり運動<br>第2回考査  |                  |
|    | 8  | 体育理論 運動・スポーツの学び方   | 3                |
|    | 9  | 「スポーツにおける技能と体力」「スポーツにおける技術と戦術」「技能の上達過程と練習」                   | 3                |
|    | 後期 | 10   | 選択Ⅲ<br>球技、武道から選択 |
| 11 |    | 第3回考査  |                  |
| 12 |    | 体育理論 運動・スポーツの学び方<br>「効果的な動きのメカニズム」「体カトレーニング」「運動やスポーツでの安全の確保」 | 3                |
| 1  |    | 陸上競技   | 15               |
| 2  |    | 選択Ⅳ<br>アルティメット   | 12               |
| 3  |    | 第4回考査  |                  |

#### 5 その他

- ・各種目の積極的な参加と運動の特性を理解し、自ら考え、工夫して取り組み、ゲームなどを楽しめるようになってほしい。
- ・自分の体力を知り、自己の体力の向上に何が必要か課題意識を持ち、具体的な目標設定ができるようになってほしい。
- ・運動技能の習得だけでなく、準備や後片付けなど協力共同の場面で積極的に行動してほしい。
- ・安全に配慮し、互いが協力しながら楽しく授業に参加してほしい。
- ・授業を休まない。また、見学をするときは、授業担当者に事前に申し出て、見学ノートを提出する。
- ・体操服を忘れない。また、体操服をきちんと着用する。
- ・授業開始時間を守る。(着替えを迅速にする。)

様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |    |     |     |
|-----|----|-----|-----|
| 科目名 | 保健 | 単位数 | 1単位 |
|     |    | 学年等 | 2年生 |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 現代高等保健体育(大修館)</p> <p>副教材 現代高等保健体育ノート(大修館) ステップアップ高校スポーツ(大修館)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                   |
|-----|---|---|---------------------------------|
| 趣旨  | 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 | 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している | 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 |
| 評価点 | 400点  | 400点  | 400点                            |

3 評価の計画

| 考查 | 単元  | 知識・技能              | 思考・判断・表現           | 主体的に学習に取り組む態度                  |
|----|---|--------------------|--------------------|--------------------------------|
| 1回 | 3単元 生涯を通じる健康<br>ライフステージと健康 思春期と健康<br>性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康<br>避妊法と人工妊娠中絶                              | ・定期考查<br>・授業中の行動観察 | ・定期考查<br>・授業中の行動観察 | ・授業への参加状況<br>・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点   | 100点               | 100点               | 100点                           |
| 2回 | 3単元 生涯を通じる健康<br>結婚生活と健康 中高年期と健康<br>働くことと健康 労働災害と健康<br>健康的な職業生活                                      | ・定期考查<br>・授業中の行動観察 | ・定期考查<br>・授業中の行動観察 | ・授業への参加状況<br>・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点   | 100点               | 100点               | 100点                           |
| 3回 | 4単元 健康を支える環境づくり<br>大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康<br>環境と健康にかかわる対策<br>ゴミの処理と上下水道の整備<br>食品の安全性 食品衛生にかかわる活動      | ・定期考查<br>・授業中の行動観察 | ・定期考查<br>・授業中の行動観察 | ・授業への参加状況<br>・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点   | 100点               | 100点               | 100点                           |
| 4回 | 4単元 健康を支える環境づくり<br>保健サービスとその活用<br>医療サービスとその活用<br>医薬品の制度とその活用<br>さまざまな保健活動や社会的対策<br>健康に関する環境づくりと社会参加 | ・定期考查<br>・授業中の行動観察 | ・定期考查<br>・授業中の行動観察 | ・授業への参加状況<br>・授業中の行動観察<br>・提出物 |
|    | 評価点   | 100点               | 100点               | 100点                           |

#### 4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数 |   |
|----|--|--|----|---|
| 前期 | 4  | 3単元 生涯を通じる健康<br>01 ライフステージと健康<br>02 思春期と健康       | 10 |   |
|    | 5  | 03 性意識と性行動の選択<br>04 妊娠・出産と健康                     |    |   |
|    | 6  | 05 避妊法と人工妊娠中絶<br><br>第1回考査                       |    |   |
|    | 7  | 3単元 安全な社会生活<br>06 結婚生活と健康<br>07 中高年期と健康          |    | 8 |
|    | 8  | 08 働くことと健康<br>09 労働災害と健康<br>10 健康的な職業生活          |    |   |
|    | 9  | <br>第2回考査  |    |   |
|    | 10   | 4単元 健康を支える環境づくり<br>01 大気汚染と健康<br>02 水質汚濁・土壌汚染と健康 | 7  |   |
|    | 11   | 03 環境と健康にかかわる対策<br>04 ゴミの処理と上下水道の整備<br>05 食品の安全性 |    |   |
|    | 12   | 06 食品衛生にかかわる活動<br><br>第3回考査                      |    |   |
| 1  | 4単元 健康を支える環境づくり<br>07 保健サービスとその活用                      | 10   |    |   |
| 2  | 08 医療サービスとその活用<br>09 医薬品の制度とその活用<br>10 さまざまな保健活動や社会的対策 |  |    |   |
| 3  | 11 健康に関する環境づくりと社会生活<br><br>第4回考査                       |  |    |   |

#### 5 その他

「保健」という科目は、「健康を保つ」ことを学ぶ授業で、毎週1時間行われます。健康問題がテレビや新聞等で大きく取り扱われる現状の中で、正しい情報を取り入れ適切な生活行動を選択できるようになることが求められています。「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、日常生活の中の課題を見つけ出し解決の方法を導き出すことができるような授業を展開します。日常生活において、空気と同じようにあって当然、なくなると困るもの、それが健康です。毎日の生活の中で「体の健康」「心の健康」に目を向けましょう。

年間指導計画表(シラバス)

|     |    |     |               |
|-----|----|-----|---------------|
| 科目名 | 素描 | 単位数 | 2単位           |
|     |    | 学年等 | 2年生普通科創造表現コース |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性や美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 高校生の美術1(日本文教出版)<br>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具など   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|--|---|---|
| 趣旨  | 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すための基本的な技能を身につけている。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、感性や美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度をもっている。 |
| 評価点 | 200点   | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考查 | 単元                             | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                     |
|----|--------------------------------|--------|----------|-----------------------------------|
| 1回 | ・コンピュータグラフィックス演習<br>・卓上・構成デッサン | 制作作品など | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート            |
|    | 評価点 150                        | 50点    | 50点      | 50点                               |
| 2回 | ・平面構成                          | 制作作品など | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート            |
|    | 評価点 150                        | 50点    | 50点      | 50点                               |
| 3回 | ・素描(石膏像)                       | 制作作品など | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート            |
|    | 評価点 150                        | 50点    | 50点      | 50点                               |
| 4回 | ・テーマ制作(表現)                     | 制作作品など | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート<br>・課題レポート |
|    | 評価点 150                        | 50点    | 50点      | 50点                               |

#### 4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数 |
|----|----|--|----|
| 前期 | 4  | ① コンピュータグラフィックス演習<br>タブレット、MAC、アプリケーションなどの扱い方について学ぶ<br>メディア表現における造形や演出の諸要素について学ぶ   | 10 |
|    | 5  | ② 卓上・構成デッサン<br>モチーフの構成方法について学ぶ<br>質感や素材感及び立体感などの描写表現について学ぶ<br><br>◆-----第1回考査  | 10 |
|    | 6  | ③ 平面構成<br>アクリルガッシュの特性と扱い方について学ぶ<br>モチーフの特質と描写(色彩・形体・材質)について学ぶ<br>構成における美の秩序、視覚的な効果(リズムやバランスなど)について学ぶ<br><br>◆-----第2回考査          | 16 |
| 後期 | 10 | ④ 素描(石膏像)<br>石膏素描の基礎と描画材(鉛筆・木炭)の特性について学ぶ<br>形の取り方、光源を意識した陰影表現を学ぶ<br>石膏像の量感を意識した細部の描写方法を学ぶ<br><br>◆-----第3回考査                     | 14 |
|    | 11 | ⑤ テーマ制作(表現)<br>多様な表現技法・描画材を活用したテーマ制作を通し、個性を活かした作品制作を学ぶ<br>テーマに応じた表現活動の研究と工夫について学ぶ<br>自身の考えを共有するための企画書制作について学ぶ<br><br>◆-----第4回考査 | 20 |

#### 5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。



様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |    |     |               |
|-----|----|-----|---------------|
| 科目名 | 構成 | 単位数 | 3単位           |
|     |    | 学年等 | 2年生普通科創造表現コース |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性や美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 高校生の美術1(日本文教出版)<br>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具など   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|--|---|---|
| 趣旨  | 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すための基本的な技能を身につけている。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、感性や美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度をもっている。 |
| 評価点 | 200点   | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考查 | 単元                | 知識・技能    | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                     |
|----|-------------------|----------|----------|-----------------------------------|
| 1回 | ・工芸実習<br>・静物水彩    | 制作作品など   | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート            |
|    | 評価点 150           | 50点      | 50点      | 50点                               |
| 2回 | ・プロダクトデザイン(構想・発表) | 制作作品など   | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート<br>・課題レポート |
|    | 評価点 150           | 50点      | 50点      | 50点                               |
| 3回 | ・テーマ制作(構想)        | 制作作品など   | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート<br>・課題レポート |
|    | 評価点 150           | 50点      | 50点      | 50点                               |
| 4回 | ・美術史(鑑賞)          | 鑑賞レポートなど | 鑑賞レポートなど | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート            |
|    | 評価点 150           | 50点      | 50点      | 50点                               |

#### 4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数 |
|----|----|--|----|
| 前期 | 4  | ① 工芸実習(和紙を用いた灯りの制作)<br>伝統工芸の在り方、歴史について学ぶ<br>和紙や木材などを用いた表現技法について学ぶ  | 15 |
|    | 6  | ② 静物水彩<br>水彩の表現について学ぶ<br>水彩絵具の特性を理解し、多様な表現技法を用いた作品制作について学ぶ<br>形態のとらえ方や質感の表現を学ぶ<br><br>◆-----第1回考査                                | 15 |
|    | 8  | ③ プロダクトデザイン(構想・発表)<br>デザインを構想する手順や構想の手立てについて学ぶ<br>デザインにおける造形の諸要素を学ぶ<br>プレゼンテーションの基礎を学ぶ<br><br>◆-----第2回考査                        | 24 |
| 後期 | 12 | ④ テーマ制作(構想)<br>多様な表現技法・描画材を活用したテーマ制作を通し、個性を活かした作品制作を学ぶ<br>テーマに応じた表現活動の研究と工夫について学ぶ<br>自身の考えを共有するための企画書制作について学ぶ<br><br>◆-----第3回考査 | 21 |
|    | 1  | ⑤ 美術史(鑑賞)<br>日本美術史について学ぶ<br>自身の考えを論理的に文章にまとめる基礎を学ぶ<br><br>◆-----第4回考査  | 30 |

#### 5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる描写力・観察力・構成力などの力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

## 年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |               |
|-----|------|-----|---------------|
| 科目名 | 美術創造 | 単位数 | 4単位           |
|     |      | 学年等 | 2年生普通科創造表現コース |

## 1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 高校生の美術1(日本文教出版)<br>副教材 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社) 実技用具など   |

## 2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-----|--|--|--|
| 趣旨  | 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すために必要となる、基本的な美術表現の技能を身に付けている。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想をすることができ、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。 | 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美に対する感動や、自己の考えを表現しようとしている。また、美術と生活や社会、自己との繋がりを感じ、それらを創造していく態度をもっている。 |
| 評価点 | 200点   | 200点   | 200点   |

## 3 評価の計画

| 考査 | 単元                                   | 知識・技能  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度                     |
|----|--------------------------------------|--------|----------|-----------------------------------|
| 1回 | ・絵画表現(イメージ画)<br>・名前の書体確認<br>・仮名の書の学習 | 制作作品など | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート            |
|    | 評価点 150                              | 50点    | 50点      | 50点                               |
| 2回 | ・仮名の書による作品制作                         | 制作作品など | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート<br>・課題レポート |
|    | 評価点 150                              | 50点    | 50点      | 50点                               |
| 3回 | ・土笛の制作<br>・篆刻                        | 制作作品など | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート            |
|    | 評価点 150                              | 50点    | 50点      | 50点                               |
| 4回 | ・勘亭流 江戸文字, 寄席文字の学習                   | 制作作品など | 制作作品など   | ・授業中の行動観察<br>・授業ワークシート            |
|    | 評価点 150                              | 50点    | 50点      | 50点                               |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容  | 時数  |   |    |
|----|----|---|---|---|----|
| 前期 | 4  | ①【絵画表現(イメージ)】古典音楽をモチーフに絵画表現を行う<br>・さまざまな音楽を聴きイメージをスケッチする<br>・楽曲を決め鑑賞し、イメージを膨らませる<br>・楽器の音を具体的なイメージにする<br>・楽曲を起承転結に分け4場面のイメージ画を制作する<br>第1回考査 | 40  |   |    |
|    | 5  |   |   |   |    |
|    | 6  |   |   |   |    |
|    | 7  |   |   | ②【名前の練習】名前の各書体を書道字典で確認し修練する。<br>【仮名の書の学習】成立, いろは単体, 変体仮名, 連綿, 紙面構成<br>第2回考査 | 32 |
|    | 8  |   |   |   |    |
|    | 9  |   |   |   |    |
|    | 後期 | 10  | ③【土笛の制作】粘土を使って土笛とオカリナを制作する<br>・音の出る作品を作る<br>・笛の音が出る仕組みを学ぶ<br>・制作した楽器で演奏をする<br>第3回考査 | 28  |    |
|    |    | 11  |   |   |    |
|    |    | 12  |   |   |    |
| 1  |    | ④【篆刻】篆書を学習し、落款の制作をする<br>・篆書について学習する<br>・落款について学習する<br>・朱文と白文について<br>・落款の制作  | 26  |   |    |
| 2  |    |   |   |   |    |
| 3  |    | ⑤【勤亭流様式の学習】<br>・勤亭流 江戸文字, 寄席文字等のそれぞれがもつ特徴について理解する<br>第4回考査  | 14  |   |    |

5 その他

- 1年間を通して今後の表現活動の基盤となる発想力や表現力などの基礎的な力を、実技演習を通じて育成します。
- 各単元や授業でワークシートの提出を求めます。

|     |              |     |          |
|-----|--------------|-----|----------|
| 科目名 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 3単位      |
|     |              | 学年等 | 2年生普通科普通 |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用し、以下の項目を到達する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</li> <li>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</li> <li>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</li> </ol> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II (東京書籍)<br/>副教材 ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II WORKBOOK(東京書籍)<br/>ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II 本文学習ノート(東京書籍)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 外国語の理解を深めるとともに、外国語の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けている。 | 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考査 | 単元               | 知識・技能           | 思考・判断・表現                          | 主体的に学習に取り組む態度                                  |
|----|------------------|-----------------|-----------------------------------|--|
| 1回 | Unit 1<br>Unit 2 | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点              | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 2回 | Unit 3<br>Unit 4 | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点              | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 3回 | Unit 5<br>Unit 6 | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点              | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 4回 | Unit 7<br>Unit 8 | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点              | 50点             | 50点                               | 50点  |



4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容  | 時数  |   |
|----|----|---|---|---|
| 前期 | 4  | Unit 1 What can we do to prevent endemic species from becoming extinct<br>・助動詞+完了形、不定詞の意味上の主語を用いた文の形・意味・用法<br>・絶滅危惧種の生息地、特徴などについて説明するための表現や方法理解 | 13  |   |
|    | 5  | Unit 2 Which sports can really be called sports?<br>・受け身の不定詞、助動詞 do の強調<br>・自分の考えを即興で伝える技能  | 14  |   |
|    | 6  |   |   |   |
|    | 7  | パフォーマンステスト①<br>第1回考査  | 3   |   |
|    | 8  | Unit 3 How do we chose what we eat?<br>・先行詞を含む関係副詞、否定語の倒置<br>・自分の体験や経験を基に、情報を伝える  | 10  |   |
|    | 9  | Unit 4 How have inventions changed history?<br>・強調構文、関係副詞の非制限用法<br>・事実や意見を適切な表現を使い説明する技能  | 11  |   |
|    |    | パフォーマンステスト②<br>第2回考査  | 3   |   |
|    | 後期 | 10  | Unit 5 What can we learn from traveling?<br>・接続詞+分詞、完了不定詞<br>・利点と欠点をふまえて自分の意見を書くための適切な方法                              | 9 |
|    |    | 11  | Unit 6 How do people's personalities affect their behavior?<br>・部分否定<br>・アンケートなどの分析結果を伝えるための表現や方法<br>関係代名詞の非制限用法 分詞構文 | 9 |
| 12 |    |   |   |   |
| 1  |    | パフォーマンステスト③<br>第3回考査  | 3   |   |
| 2  |    | Unit 7 Who should we celebrate on our money?<br>・受け身の進行形、be 動詞+to 不定詞<br>・相手の意見に応じるための適切な表現や方法  | 13  |   |
| 3  |    | Unit 8 How can we find out if news is real or fake?<br>・複合関係副詞<br>・事実と意見を分けて伝えるための適切な表現や方法  | 14  |   |
|    |    | パフォーマンステスト④<br>第4回考査  | 3   |   |

5 その他

- 小テスト・課題等で知識・技能を高めていきます。
- Unit ごとにワークシートに取り組むことで、知識・技能を活用する力を養います。
- パフォーマンステストは、「聞く」「読む」「話す[やり取り・発表]」「書く」ことのいずれかについて実施します。詳細は別途連絡します。

様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |        |     |          |
|-----|--------|-----|----------|
| 科目名 | 論理・表現Ⅱ | 単位数 | 2単位      |
|     |        | 学年等 | 2年生普通科普通 |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | 言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。  |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 be English Logic and Expression SmartⅡ (いいずな書店)<br>副教材 総合英語 be 4 <sup>th</sup> Edition(いいずな書店)<br>be English Logic and Expression SmartⅡ Workbook (いいずな書店)<br>be English Logic and Expression SmartⅡ Portfolio(いいずな書店) |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既知の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。 | 知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。 | 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考査 | 単元                             | 知識・技能           | 思考・判断・表現                          | 主体的に学習に取り組む態度                                  |
|----|--------------------------------|-----------------|-----------------------------------|--|
| 1回 | Lesson 1~4<br>スクリプトライティング      | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点                            | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 2回 | Lesson 5~8<br>スピーチ             | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点                            | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 3回 | Lesson 9~11<br>プレゼンテーション       | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点                            | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 4回 | Lesson 12~15<br>ディスカッション・ディベート | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点                            | 50点             | 50点                               | 50点  |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数                                      |    |
|----|----|--|---|----|
| 前期 | 4  | Lesson 1<br>Lesson 2   | 18                                      |    |
|    | 5  | Lesson 3<br>Lesson 4   |   |    |
|    | 6  | パフォーマンステスト(与えられた状況に合うスクリプトを書く)                               |   | 2  |
|    | 7  | ◆-----<br>第1回考查  |   |    |
|    | 8  | Lesson 5<br>Lesson 6<br>Lesson 7<br>Lesson 8                 | 14                                      |    |
|    | 9  | パフォーマンステスト(基本的な構成方法を意識しつつ原稿を作成し、「伝わるスピーチ」をする)                |   | 2  |
|    |    |  | ◆-----<br>第2回考查                         |    |
|    | 後期 | 10   | Lesson 9<br>Lesson 10<br>Lesson 11      | 12 |
|    |    | 11   | パフォーマンステスト(「相手に伝わる」ことを意識し、ビジュアル資料を活用する) |    |
| 12 |    | ◆-----<br>第3回考查  |   |    |
| 1  |    | Lesson 12<br>Lesson 13<br>Lesson 14<br>Lesson 15             | 16                                      |    |
| 2  |    | パフォーマンステスト<br>ディベート:ディベート形式や基本的なルールを理解する。<br>肯定と否定の立場で意見を述べる |   |    |
| 3  |    | ディスカッション:意見を出し合ったり、情報を交換し合ったりする表現方法<br>議論の態度を理解する            | 4                                       |    |
|    |    |  | ◆-----<br>第4回考查                         |    |

5 その他

- 小テスト・課題等で知識・技能を高めていきます。
- 副教材を使用して、Lesson ごとに「書く」技能を高める活動を行います。
- パフォーマンステストは、「話す[やり取り・発表]」・「書く」のいずれかについて実施します。詳細は別途連絡します。

|     |              |     |               |
|-----|--------------|-----|---------------|
| 科目名 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 3単位           |
|     |              | 学年等 | 2年生普通科創造表現コース |

1 学習の到達目標等

|               |   |
|---------------|---|
| 学習の到達目標       | <p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用し、以下の項目を到達する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>2 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>3 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</li> <li>4 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</li> <li>5 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</li> </ol> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II (東京書籍)<br/>副教材 ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II WORKBOOK(東京書籍)<br/>ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II 本文学習ノート(東京書籍)</p>   |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 外国語の理解を深めるとともに、外国語の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けている。 | 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考査 | 単元               | 知識・技能           | 思考・判断・表現                          | 主体的に学習に取り組む態度                                  |
|----|------------------|-----------------|-----------------------------------|--|
| 1回 | Unit 1<br>Unit 2 | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点              | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 2回 | Unit 3<br>Unit 4 | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点              | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 3回 | Unit 5<br>Unit 6 | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点              | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 4回 | Unit 7<br>Unit 8 | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点              | 50点             | 50点                               | 50点  |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数 |
|----|----|--|----|
| 前期 | 4  | Unit 1 What can we do to prevent endemic species from becoming extinct<br>・助動詞+完了形, 不定詞の意味上の主語を用いた文の形・意味・用法<br>・絶滅危惧種の生息地、特徴などについて説明するための表現や方法理解 | 13 |
|    | 5  | Unit 2 Which sports can really be called sports?<br>・受け身の不定詞、助動詞 do の強調  | 14 |
|    | 6  | ・自分の考えを即興で伝える技能  |    |
|    | 7  | パフォーマンステスト①<br>-----<br>第1回考査  | 3  |
|    | 8  | Unit 3 How do we chose what we eat?<br>・先行詞を含む関係副詞、否定語の倒置<br>・自分の体験や経験を基に、情報を伝える   | 10 |
|    | 9  | Unit 4 How have inventions changed history?<br>・強調構文、関係副詞の非制限用法<br>・事実や意見を適切な表現を使い説明する技能   | 11 |
|    |    | パフォーマンステスト②<br>-----<br>第2回考査  | 3  |
|    | 10 | Unit 5 What can we learn from traveling?<br>・接続詞+分詞、完了不定詞<br>・利点と欠点をふまえて自分の意見を書くための適切な方法   | 9  |
|    | 11 | Unit 6 How do people's personalities affect their behavior?<br>・部分否定<br>・アンケートなどの分析結果を伝えるための表現や方法<br>関係代名詞の非制限用法 分詞構文                            | 9  |
| 後期 | 12 | パフォーマンステスト③<br>-----<br>第3回考査  | 3  |
|    | 1  | Unit 7 Who should we celebrate on our money?<br>・受け身の進行形、be 動詞+to 不定詞<br>・相手の意見に応じるための適切な表現や方法   | 13 |
|    | 2  | Unit 8 How can we find out if news is real or fake?<br>・複合関係副詞<br>・事実と意見を分けて伝えるための適切な表現や方法   | 14 |
|    | 3  | パフォーマンステスト④<br>-----<br>第4回考査  | 3  |

5 その他

- 小テスト・課題等で知識・技能を高めていきます。
- Unit ごとにワークシートに取り組むことで、知識・技能を活用する力を養います。
- パフォーマンステストは、「聞く」「読む」「話す[やり取り・発表]」「書く」ことのいずれかについて実施します。詳細は別途連絡します。



様式7

年間指導計画表(シラバス)

|     |        |     |               |
|-----|--------|-----|---------------|
| 科目名 | 論理・表現Ⅱ | 単位数 | 2単位           |
|     |        | 学年等 | 2年生普通科創造表現コース |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | 言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。  |
| 使用教科書<br>副教材等 | 教科書 be English Logic and ExpressionⅡ Clear (いいずな書店)<br>副教材 総合英語 be 4 <sup>th</sup> Edition(いいずな書店)<br>be English Logic and ExpressionⅡ Clear Workbook (いいずな書店)<br>be English Logic and ExpressionⅡ Clear Portfolio(いいずな書店) |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|---|---|
| 趣旨  | 習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。 | 知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。 | 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点  | 200点  |

3 評価の計画

| 考查 | 単元                             | 知識・技能           | 思考・判断・表現                          | 主体的に学習に取り組む態度                                  |
|----|--------------------------------|-----------------|-----------------------------------|--|
| 1回 | Lesson 1～4<br>スクリプトライティング      | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点                            | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 2回 | Lesson 5～8<br>スピーチ             | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点                            | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 3回 | Lesson 9～11<br>プレゼンテーション       | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点                            | 50点             | 50点                               | 50点  |
| 4回 | Lesson 12～15<br>ディスカッション・ディベート | ・定期考査等<br>・小テスト | ・定期考査等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト | ・授業中の行動観察<br>・学習課題等<br>・ワークシート等<br>・パフォーマンステスト |
|    | 評価点                            | 50点             | 50点                               | 50点  |

4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容   | 時数 |  |
|----|----|--|----|--|
| 前期 | 4  | Lesson 1<br>Lesson 2<br>Lesson 3                                     | 18 |  |
|    | 5  | Lesson 4<br><br>パフォーマンステスト(与えられた状況に合うスクリプトを書く)                       |    |  |
|    | 6  | 第1回考査  |    |  |
|    |    | ◆  |    |  |
|    |    | Lesson 5   |    |  |
|    | 7  | Lesson 6<br>Lesson 7   |    |  |
|    | 8  | Lesson 8<br><br>パフォーマンステスト(基本的な構成方法を意識しつつ原稿を作成し、「伝わるスピーチ」をする)        | 14 |  |
|    | 9  | 第2回考査  | 2  |  |
|    |    | ◆  |    |  |
| 後期 | 10 | Lesson 9<br>Lesson 10<br>Lesson 11                                   | 12 |  |
|    | 11 | パフォーマンステスト(「相手に伝わる」ことを意識し、ビジュアル資料を活用する)                              | 2  |  |
|    | 12 | 第3回考査  |    |  |
|    |    | ◆  |    |  |
|    |    | Lesson 12  |    |  |
|    | 1  | Lesson 13<br>Lesson 14<br>Lesson 15                                  |    |  |
|    | 2  | パフォーマンステスト<br>ディベート:ディベート形式や基本的なルールを理解する。                            | 16 |  |
|    | 3  | 肯定と否定の立場で意見を述べる<br>ディスカッション:意見を出し合ったり、情報を交換し合ったりする表現方法<br>議論の態度を理解する | 4  |  |
|    |    | ◆  |    |  |
|    |    | 第4回考査  |    |  |

5 その他

- 小テスト・課題等で知識・技能を高めていきます。
- 副教材を使用して、Lesson ごとに「書く」技能を高める活動を行います。
- パフォーマンステストは、「話す[やり取り・発表]」・「書く」のいずれかについて実施します。詳細は別途連絡します。

年間指導計画表(シラバス)

|     |      |     |     |
|-----|------|-----|-----|
| 科目名 | 情報 I | 単位数 | 2単位 |
|     |      | 学年等 | 2年生 |

1 学習の到達目標等

|               |  |
|---------------|--|
| 学習の到達目標       | <p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p> |
| 使用教科書<br>副教材等 | <p>教科書 情報 I Step Forward!(東京書籍)</p> <p>副教材 ベストフィット情報 I (実教出版)</p>  |

2 評価の観点等

| 観点  | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----|---|--|---|
| 趣旨  | 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。 | 事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 | 情報社会とのかかわりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し、改善しようとしている。 |
| 評価点 | 200点  | 200点   | 200点  |

3 評価の計画

| 考査 | 単元                                   | 知識・技能    | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度      |
|----|--------------------------------------|----------|----------|--------------------|
| 1回 | 1章 情報社会<br>2章 情報デザイン<br>4章 ネットワークの活用 | ・レポート課題等 | ・レポート課題等 | ・学習課題<br>・授業への取り組み |
|    | 評価点                                  | 50点      | 50点      | 50点                |
| 2回 | 2章 情報デザイン                            | ・定期考査等   | ・定期考査等   | ・学習課題<br>・授業への取り組み |
|    | 評価点                                  | 50点      | 50点      | 50点                |
| 3回 | 3章 プログラミング                           | ・制作物等    | ・制作物等    | ・学習課題<br>・授業への取り組み |
|    | 評価点                                  | 50点      | 50点      | 50点                |
| 4回 | 1章 情報社会<br>4章 ネットワークの活用              | ・定期考査等   | ・制作物等    | ・学習課題<br>・授業への取り組み |
|    | 評価点                                  | 50点      | 50点      | 50点                |

#### 4 指導の計画

| 学期 | 月  | 単元及び学習内容  | 時数 |
|----|----|---|----|
| 前期 | 4  | 1章 情報社会<br>01 情報とその特性 ~ 07 個人情報<br>2章 情報デザイン<br>23 情報デザイン ~ 26 コンテンツ設計<br>4章 ネットワークの活用<br>49 データの収集と種類 ~ 52 2つのデータの関係<br>◆-----<br>制作物 レポート課題 | 20 |
|    | 7  | 2章 情報デザイン<br>12 コミュニケーションデザイン ~ 22 ネットコミュニケーションの特徴<br>◆-----<br>第2回考査   | 16 |
| 後期 | 10 | 3章 プログラミング<br>27 コンピュータの構成 ~ 39 シミュレーションの活用<br>◆-----<br>制作物 プログラム  | 14 |
|    | 12 | 1章 情報社会<br>08 情報セキュリティ ~ 11 情報技術が社会に与える光と影<br>4章 ネットワークの活用<br>40 情報通信ネットワーク ~ 47 データの活用とデータベース<br>◆-----<br>第4回考査                             | 20 |

#### 5 その他

- 実習や制作を通し、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育成します。
- 授業ではタブレット等のBYOD 端末を利用します。